

第109回全国図書館大会岩手大会 第1回実行委員会

日時：令和5年4月26日（水）14：00～16：00

会場：岩手県立図書館 2階研修室

次 第

1 開 会

2 議 題

- (1) 大会役員の推戴並びに大会実行委員会組織について (資料1)
- (2) 大会実行委員会規約等(案)について (資料2～4)
- (3) 大会開催要項(案)について (資料5)
 - 大会テーマ(案)、記念講演(案)について (資料6)
 - 開会式・全体会(案)について (資料7)
 - 分科会(案)について (資料8)
- (4) 大会予算(案)について (資料9)

3 その他

- 大会準備スケジュールについて (資料10)

4 その他

5 閉 会

第 109 回全国図書館大会岩手大会第 1 回実行委員会 出席者名簿

所 属 ・ 職 名	氏 名	備 考
岩手県教育委員会教育長	佐藤 一男	
公益社団法人日本図書館協会副理事長	鈴木 隆	
岩手県立図書館長 (岩手県図書館協会会長)	森本 晋也	
盛岡市立図書館長 (岩手県図書館協会副会長)	伊藤 佳子	
岩手県学校図書館協議会会長 (盛岡市立向中野小学校長)	照井 大道	
岩手県高等学校教育研究会図書館部会部会長 (盛岡大学附属高等学校長)	及川 浩純	
いわて高等教育コンソーシアム 附属図書館長及び実務担当者会議 (富士大学図書館長)	早川 光彦	代理出席
岩手県図書館協会副会長 (久慈市立図書館長)	姉帯 裕子	
岩手県立図書館協議会会長 (盛岡大学文学部准教授)	吉植 庄栄	
岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課総括課長	小澤 則幸	
岩手県立図書館指定管理者総括責任者	菊池 桂	

〔事務局〕

所 属 ・ 職 名	氏 名	備考
岩手県立図書館副館長	菊地 幸男	
〃 主任主査	佐藤 奈津子	
〃 主任	佐藤 友也	
〃 主事	諸岡 理恵	
〃 主事	木村 玲	
〃 主事	西舘 和裕	
〃 会計年度任用職員	菅原 英子	

第 109 回全国図書館大会岩手大会 組織

【大会役員】

(敬称略)

役 割	氏 名	所 属 ・ 職 名
大会会長	達増 拓也	岩手県知事
大会副会長	谷藤 裕明	盛岡市長
大会副会長	植松 貞夫	公益社団法人日本図書館協会理事長

【実行委員会】

(敬称略)

役 割	氏 名	所 属 ・ 職 名
委員長	佐藤 一男	岩手県教育委員会教育長
副委員長	鈴木 隆	公益社団法人日本図書館協会副理事長
副委員長	森本 晋也	岩手県立図書館長(岩手県図書館協会会長)
副委員長	伊藤 佳子	盛岡市立図書館長(岩手県図書館協会副会長)
委 員	照井 大道	岩手県学校図書館協議会会長(盛岡市立向中野小学校長)
委 員	及川 浩純	岩手県高等学校教育研究会図書館部会会長(盛岡大学附属高等学校長)
委 員	早川 光彦	いわて高等教育コンソーシアム附属図書館長及び実務担当者会議(富士大学図書館長)
委 員	姉帯 裕子	岩手県図書館協会副会長(久慈市立図書館長)
委 員	吉植 庄栄	岩手県立図書館協議会会長(盛岡大学文学部准教授)
委 員	小澤 則幸	岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課総括課長
委 員	菊池 桂	岩手県立図書館指定管理者総括責任者

監 事	照井 大道	岩手県学校図書館協議会会長(盛岡市立向中野小学校長)
監 事	姉帯 裕子	岩手県図書館協会副会長(久慈市立図書館長)

【実行委員会事務局】

役 割	氏 名	所 属 ・ 職 名
事務局長	菊地 幸男	岩手県立図書館副館長
事務局員	佐藤 奈津子	〃 主任主査
〃	佐藤 友也	〃 主任
〃	田村 奈々	〃 主事
〃	諸岡 理恵	〃 主事
〃	木村 玲	〃 主事
〃	西舘 和裕	〃 主事
〃	菅原 英子	〃 会計年度任用職員
〃	小原 友佳子	〃 事務補助

第 109 回全国図書館大会岩手大会実行委員会規約

(趣旨)

第 1 条 第 109 回全国図書館大会岩手大会実行委員会（以下「実行委員会」という。）の運営に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第 2 条 実行委員会は、第 109 回全国図書館大会岩手大会（以下「大会」という。）の充実と運営の円滑化を図ることを目的とする。

(業務)

第 3 条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 大会の企画に関すること。
- (2) 大会の開催に関すること。
- (3) 大会の運営に関すること。
- (4) その他、大会に関して必要な事項に関すること。

(構成及び役員)

第 4 条 実行委員会は、別紙に掲げる者をもって構成する。

- 2 実行委員会に委員長 1 名、副委員長 3 名、監事 2 名の役員を置く。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故あるときはその職務を代行する。
- 5 監事は、実行委員会の会計及び業務を監査する。

(任期)

第 5 条 委員の任期は、施行の日から委員会解散の日までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、委員が主催団体又は機関の役員を離れたときは、後任者をもって充てる。

(会議)

第 6 条 実行委員会は、委員長が招集し、議長となる。ただし、委員長が不在の時は、副委員長が議長となる。

- 2 実行委員会は、第 3 条に掲げる事項について審議し、決定する。
- 3 実行委員会は、オンライン会議又は書面での開催を妨げない。
- 4 実行委員会は、委員の過半数（委任状、オンライン参加を含む。）の出席をもって成立する。
- 5 実行委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決する。
- 6 実行委員会への委員以外の者の出席は、委員長の判断によるものとする。

(事務局)

第 7 条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を岩手県立図書館に置く。なお、事務局に関する規程は、別に定める。

(解散)

第 8 条 実行委員会は、第 2 条の目的を達成した後、速やかに実施報告及び決算の承認を行い、解散する。

(雑則)

第 9 条 この規約に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

(附則)

この規約は、令和 5 年 4 月 26 日から施行する。

【第109回全国図書館大会岩手大会実行委員会】

委員長	岩手県教育委員会教育長
副委員長	公益社団法人日本図書館協会副理事長
	岩手県立図書館長（岩手県図書館協会会長）
	盛岡市立図書館長（岩手県図書館協会副会長）
委員	岩手県学校図書館協議会会長（盛岡市立向中野小学校長） 岩手県高等学校教育研究会図書館部会部会長（盛岡大学附属高等学校長） いわて高等教育コンソーシアム附属図書館長及び実務担当者会議（富士大学図書館長） 岩手県図書館協会副会長（久慈市立図書館長） 岩手県立図書館協議会会長（盛岡大学文学部准教授） 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課総括課長 岩手県立図書館指定管理者総括責任者
監事	岩手県学校図書館協議会会長（盛岡市立向中野小学校長） 岩手県図書館協会副会長（久慈市立図書館長）

第 109 回全国図書館大会岩手大会参加費・謝礼・交通費等の取扱いについて

第 109 回全国図書館大会岩手大会実行委員会

本大会の講師及び大会運営スタッフ等の参加費、謝礼、交通費（旅費）の取扱いについて、前例に基づき以下のとおり定める。

1 趣旨

全国図書館大会は、会員相互の自助努力と共同の力により、持ち合い、助け合い、支えあうことを基本的な運営理念とする。したがって、日本図書館協会役員はもちろんのこと、大会運営を担うものも、原則としては参加費を含む諸費用を負担することが基本的な考え方である。

しかし、それだけでは参加者が十分に満足を得るだけの内容の大会にすることは困難であり、社会通念を配慮した柔軟な措置をとることも求められていることから、本大会の参加費の徴収及び交通費・謝礼の支出について、以下の統一基準を設けるものとする。

なお、この基準でいう大会の運営に携わる者を、下表のとおりとする。

区 分	構 成	役 割
大会実行委員	大会実行委員会委員	大会全般に関すること
大会事務局員	大会実行委員会事務局員並びに日本図書館協会の役員のうち大会事務局を担当する者及び日本図書館協会職員	全体会進行、来賓対応、分科会との連絡、表彰事務、受付、全体会案内、出版物販売、大会ボランティアの統括、障害者対応等
大会運営スタッフ	大会全体の運営を担当する者で、事務局以外の開催県内図書館職員	大会受付、案内、設営、進行、記録、PC 操作、大会本部との連絡等
分科会運営スタッフ	分科会の運営を担当する者 (各 5 名以内)	分科会の受付、司会進行、記録、PC 操作、大会本部との連絡等
大会ボランティア	大会運営を支える県民及び大学生などのボランティア（盛岡市観光コンベンション協会（10 名程度）を含む）	会場までの案内、受付、会場内の案内、その他

2 分科会講師、発表者及び分科会運営スタッフの人数

- (1) 分科会講師、発表者は、原則として合計 5 名以内とする。
- (2) 分科会運営スタッフは、原則として 5 名以内とする。

3 参加費

- (1) 大会実行委員の参加費は、徴収しない。
- (2) 記念講演講師、分科会講師及び発表者の参加費は、徴収しない。
- (3) 大会事務局員、大会運営スタッフ及び分科会運営スタッフ（開催地手配のスタッフに限る）の参加費は、徴収しない。

4 謝金

(1) 全体会出演者への謝金は、個別交渉により支払う。

(2) 分科会講師、発表者への謝金は、以下のとおりとする。

日本図書館協会の個人会員である場合は、原則として支払わない。

上記 に該当しない講師・発表者には、以下の基準により支払う。

ア 基調報告・基調講演の講師については、20,000 円を支払う。

イ 事例報告、分科会シンポジウムの出演者については、10,000 円を支払う。

分科会に対する個別の協賛金等から謝金を支払う場合は、実行委員会と協議の上支払う。

この基準によりがたい場合は、実行委員会と個別に協議して決める。

5 交通費（旅費）

大会及び大会準備に係る会議開催に必要な移動については、以下の基準により旅費を支給する。

(1) 記念講演講師、分科会講師には、片道 1,000 円を超えた部分の実費を旅費として支給する。

ただし、上限は 40,000 円までとする。

(2) 大会実行委員、大会事務局員、大会運営スタッフ及び大会ボランティアには、原則として旅費を支給しない。

(3) 分科会運営スタッフには、原則として旅費を支給しない。ただし、往復 5,000 円を超えた場合には、超えた額を支給する。なお、上限は 35,000 円までとする。

(4) 上記 (3) の対象となる分科会運営スタッフの数は、各分科会で 1 名までとする。

(5) この基準によりがたい場合は、実行委員会と個別に協議して決める。

6 昼食

来賓、大会実行委員、大会事務局員、大会運営スタッフ、分科会講師、発表者、分科会運営スタッフ、大会ボランティアには、必要に応じて昼食（弁当）を提供する。

7 講師、発表者の宿泊

(1) 記念講演講師、分科会講師及び発表者については、可能な限り宿泊せずに大会に参加していただく。

(2) やむを得ず宿泊する場合は、1 泊につき 8,000 円を支給する。

8 海外からの招待者、講師の招聘について

本大会では、オンライン参加を除き、海外からの招聘を行わないものとする。

第 109 回全国図書館大会岩手大会開催要項

- 1 主 催 公益社団法人日本図書館協会、岩手県、岩手県教育委員会、盛岡市、盛岡市教育委員会、岩手県図書館協会、岩手県学校図書館協議会、岩手県高等学校教育研究会図書館部会、いわて高等教育コンソーシアム附属図書館長及び実務担当者会議、北日本図書館連盟
- 2 共 催 北海道図書館振興協議会、青森県図書館連絡協議会、宮城県公立図書館等連絡会議、秋田県図書館協会、山形県図書館協会、福島県公共図書館協会、長崎県公共図書館等協議会（次期開催県）（予定）
- 3 後 援 文部科学省、国立国会図書館、全国公共図書館協議会、国立大学図書館協会、公立大学協会図書館協議会、私立大学図書館協会、専門図書館協議会、一般社団法人日本書籍出版協会、公益財団法人文字・活字文化推進機構、図書館友の会全国連絡会ほか（予定）
- 4 テーマ 「理想郷“イーハトーブ”で本当の幸せを考える～希望ある未来は図書館とともに～」
- 5 開催日程 令和 5 年 11 月 16 日（木）～17 日（金）

日時	12:30		13:30		17:00	17:30	19:00	
11/16 (木)			受付等	開会式・表彰式・ 基調報告・記念講演等			懇親交流会	
			展示会					
日時	8:45		9:15	12:15	13:45	16:45	17:30	19:00
11/17 (金)	受付	分科会（午前）		昼食	分科会（午後）			日図協の集い （自由参加）
		9:00	展示会・協賛展示会				17:30	

- ・第 1 日（16 日） 全体会（開会式、表彰式、基調報告、記念講演等）及び懇親交流会
開会式の中で、知事、開催市長等のあいさつの他、文科省等の来賓あいさつを予定。
懇親交流会では、実行委員会委員長等のあいさつを予定。
- ・第 2 日（17 日） 分科会（15 分科会を開催）

- 6 大会会場 （第 1 日） 全体会 盛岡市民文化ホール 大ホール（マリオス内）
懇親交流会 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング
（第 2 日） 分科会 いわて県民情報交流センター（アイーナ）内 各会議室等
盛岡地域交流センター（マリオス）内 各会議室等
- 7 参加費 7,000 円（岩手県内の参加者は、5,000 円）
- 8 申込方法 インターネットで大会特設サイトから申込み
- 9 申込期間 令和 5 年 8 月 1 日（火）～10 月 16 日（月）（予定）
- 10 その他 本大会は、令和 5 年度北日本図書館連盟研究協議会を兼ねていること。
- 11 連絡先 第 109 回全国図書館大会岩手大会実行委員会事務局
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通 1 - 7 - 1 岩手県立図書館内
TEL：019-606-1730 FAX：019-606-1731 Eメール：DB0023@pref.iwate.jp

大会テーマ

第 109 回全国図書館大会岩手大会の大会テーマを、以下のとおり提案します。

1 テーマ

**「理想郷 “イーハトーブ” で本当の幸せを考える
～ 希望ある未来は図書館とともに～」**

2 テーマ設定の趣旨

大和朝廷の時代、東山道の奥にあった辺境の地域は、今では風情豊かに「みちのく」と呼ばれることがあります。その一角を成す岩手県は、郷土を代表する詩人・童話作家 宮沢賢治（1896-1933）の心象世界の中にある「理想郷イーハトーブ」のモチーフとされています。賢治の思想の根底には「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はありえない」との考えが流れており、混とんとする現代社会に生きる私たちが、最も人間らしい行為の一つとされる読書やその場を提供する身近な図書館を通じ、希望ある未来に向けて本当の幸せとは何かに思いを巡らすことを大会テーマとしました。

本県では、「いわて県民計画（2019～2028）」のもと、「東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向け取り組んでいます。人は誰もが幸せになるために生まれてくるのだと思いますが、生きていく上では乗り越えていかなければならない出来事に遭遇することがあります。そんな時、読書や図書館は、必ずや私たちに生きる力（課題解決のための知識や情報）を与えてくれるはずです。

記念講演

第 109 回全国図書館大会岩手大会の記念講演講師について、上記大会テーマとの関連性等（水沢 VLBI 観測所の前身である緯度観測所は、賢治自身が何度も足を運んでおり、数々の名著の構想を育んだとされます。）を考慮し、記念講演の内容を以下のとおり提案します。

タイトル

「岩手発 ブラックホール行き 銀河鉄道の旅」

講師

本間 希樹（ほんま まれき）氏

経歴

1971 年アメリカ合衆国テキサス生まれ、神奈川県育ち。

1994 年東京大学理学部天文学科卒、1999 年同大学院博士課程修了。同年国立天文台 COE 研究員。その後、助教、准教授を経て 2015 年より現在まで、国立天文台教授、水沢 VLBI 観測所所長を兼務。また現在、総合研究大学院大学及び東京大学大学院の併任教授。専門は電波天文学で、超長基線電波干渉計（VLBI）を用いて銀河系構造やブラックホールの研究を行っている。2017 年より NHK ラジオ「子ども科学電話相談」の回答者も務める。

主な著書『巨大ブラックホールの謎』、『国立天文台教授が教える ブラックホールってすごいやつ』ほか



第 1 日目 開会式・全体会

日時：令和 5 年 11 月 16 日（木）13：30～17：00 会場：盛岡市民文化ホール 大ホール

受付 12：30 ～ 13：30

開会行事 13：30 ～ 14：30

- 開会式
 - ・開会の言葉 大会実行委員会委員長（岩手県教育委員会教育長）
 - ・主催者挨拶 岩手県知事
公益社団法人日本図書館協会理事長
盛岡市長
 - ・来賓祝辞 文部科学大臣
国立国会図書館長
- 表彰式
 - ・第 39 回日本図書館協会建築賞
- 閉会

展示会 12：30 ～ 17：30 会場：盛岡市民文化ホール 大ホール 1 F ホワイエ
（日図協出版物、建築賞の紹介、岩手県内図書館の紹介）

全体会 14：30 ～ 17：00

- 基調報告 公益社団法人日本図書館協会 （40 分）
- 休憩 （20 分）
- 記念講演 （85 分）
- 次回開催県挨拶 ミライ on 図書館長（長崎県） （5 分）

懇親交流会 17：30 ～ 19：00 会場：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング

- ・主催者あいさつ 大会実行委員会委員長
- ・来賓あいさつ 文部科学省ほか
- ・乾杯、懇談

第109回全国図書館大会岩手大会予算

【収入】

参加者収入	4,150,000	県外2日7000円×450人 県内2日5000円×200人
負担金	5,000,000	日本図書館協会
	70,000	北日本図書館連盟
協賛金	1,000,000	日本図書館協会対応広告料等
助成金	700,000	盛岡観光コンベンション協会
広告収入等	400,000	広告料、出展料等
合計	11,320,000	

【支出】

報酬	856,000	事務補助任用(4月～11月)
共済費	144,000	社会保険料、労働保険料
報償費	1,280,000	講師・発表者・全体会等司会・要約筆記・手話等
旅費	1,720,000	講師・発表者・事務局等
需用費	4,162,000	
食糧費	324,000	来賓・講師・スタッフ弁当代
印刷製本費	2,429,000	大会案内・大会要綱・大会記録
その他消耗品費	1,409,000	全体会会場壺花、スタッフ証、用紙、インク、文具類等
役務費	445,000	通信運搬費、音声ファイル反訳等
委託料	1,463,000	大会運営支援業務委託
使用料	1,200,000	会場使用料
予備費	50,000	
合計	11,320,000	

第109回全国図書館大会岩手大会準備スケジュール（準備委員会～実行委員会）

時期		事項	内容等
令和4年 8月	24日	第1回準備委員会	大会概要について ・大会テーマ、予算概要、運営体制等
令和5年 2月	8日	分科会調査票締切	主要分科会（4つ）、日本図書館協会部会・委員会
	20日	第2回準備委員会	大会テーマ、記念講演講師決定 実行委員会組織及び規約類、予算書の各案を検討
4月	26日	第1回実行委員会	実行委員会組織、開催要項案、予算案等の決定
	下旬	『大会案内』原稿作成	各分科会へ依頼（企画内容、講師名、発表タイトル等の決定）
	下旬	大会運営等支援業務委託契約締結	大会参加受付業務（大会ウェブサイト構築、参加費徴収等）
	下旬	大会口座の開設	
5月	24日	『大会案内』原稿〆切	
6月	上旬	『大会案内』入稿	
	上旬	大会協賛（広告）の募集開始	対象企業への依頼
	上旬	大会共催・後援依頼文書送付	東北地区各図書館協会ほか
	下旬	『大会案内』納品	
7月	下旬	『大会案内』発送	
	下旬	分科会講師依頼文書送付	
	下旬	『大会要綱』原稿作成	各分科会へ依頼
8月	1日	大会HP開設・参加受付開始	
	中旬	『図書館雑誌』8月号発行	大会案内綴じ込み
	中旬	『図書館雑誌』10月号原稿〆切	
	下旬	『大会要綱』原稿〆切	
9月	上旬	『大会要綱』入稿	
10月	中旬	『図書館雑誌』10月号発行	大会案内特集号
	中旬	参加受付〆切	
	下旬	参加券等発送開始	
	下旬	第2回実行委員会	大会準備・申込状況確認、当日運営、他
11月	上旬	『大会要綱』納品	
	上旬	資料袋詰め	
11月	16日	全国図書館大会 1日目	
	17日	全国図書館大会 2日目	
	下旬	『大会記録』原稿依頼	各分科会へ依頼
12月	中旬	『大会記録』原稿〆切	
	中旬	『図書館雑誌』2月号原稿締切	
	下旬	『大会記録』入稿	
令和6年 2月	中旬	『図書館雑誌』2月号発行	大会ハイライト
	下旬	『大会記録』納品	
3月	中旬	『大会記録』発送	
	中旬	第3回実行委員会	大会結果報告、決算報告、実行委員会解散